

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 加地テック

コード番号 6391 URL <http://www.kajitech.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 士郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼財務部長

(氏名) 横浜 淳司

TEL 072-361-0881

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,391	△38.3	135	△82.7	141	△82.7	△51	—
21年3月期第3四半期	5,498	—	786	—	814	—	476	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△3.03	—
21年3月期第3四半期	28.15	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,191	4,749	66.0	280.55
21年3月期	8,971	4,932	55.0	291.32

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,749百万円 21年3月期 4,932百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△22.5	420	△50.1	420	△50.9	100	△79.6	5.90

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	17,180,000株	21年3月期	17,180,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	251,216株	21年3月期	250,128株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	16,929,536株	21年3月期第3四半期	16,933,249株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における日本経済は、好調な新興国経済に牽引され輸出や生産の回復が続いており、平成20年度末を底に景気全体は緩やかに持ち直してきています。一方、政府は平成21年11月に「日本経済は緩やかなデフレ状況にある」と表明、物価下落による企業収益の悪化や失業の増大のリスクを抱えており、経済情勢は依然として厳しい状況にあると言えます。

このような状況の中、当社の当第3四半期累計期間の受注高は3,841百万円と前年同期比54.4%の減となりました。部門別に見ますと、圧縮機部門においては、前年同期は中国・韓国向けに化学プラント用特殊ガス圧縮機の大型案件を受注しましたが、当第3四半期累計期間においては民間設備投資の冷え込み等により受注が低調であったため3,788百万円と前年同期比51.5%の減となりました。また繊維機械他においても、主力としている中国向けへのグラスファイバー用撚糸機の受注が落ち込んだことにより52百万円と前年同期比91.4%の減となりました。

当第3四半期末受注残高は上記のとおり受注が減少した結果、3,881百万円と前年同期比21.6%の減となりました。圧縮機部門は3,868百万円と前年同期比17.2%の減、また繊維機械他は12百万円で前年同期比95.4%の減となりました。

当社の当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比38.3%減の3,391百万円となりました。圧縮機部門においては、前年同期は韓国向けに化学プラント用特殊ガス圧縮機の大型案件の売上がありましたが、当第3四半期累計期間においては大型案件の売上が減少したため、前年同期比31.3%減の3,328百万円となりました。また、繊維機械他における売上も前年同期比90.3%減の63百万円となりました。

利益面に関しましては、売上の減少に伴い売上総利益が882百万円と前年同期比38.1%の減益になりました。また、上記売上総利益の減少に加え、研究開発費及び貸倒引当金繰入額の増加等により販売費及び一般管理費が107百万円増加したため、営業利益は135百万円で前年同期比82.7%の減益、経常利益は141百万円で前年同期比82.7%の減益となりました。なお、当第3四半期累計期間において特別損失が218百万円発生しております。その内容としては、当社の取引先である株式会社協立が平成21年10月29日付で東京地方裁判所に民事再生法適用の申請を行なったことから、当該取引先に対する債権総額118百万円を貸倒引当金繰入額として計上、また、当社が保有する無担保社債の発行元である株式会社日本航空インターナショナルが、平成22年1月19日付で東京地方裁判所に会社更生手続開始の申立てを行なったことから、当該社債の帳簿価額から備忘価額を差引いた残額100百万円を有価証券評価損として計上したものです。以上により第3四半期純損失は51百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は7,191百万円で前事業年度末に比べ1,779百万円減少しました。この主な要因は、仕掛品の増加478百万円があったものの、現預金の減少888百万円、受取手形の減少484百万円、有価証券の減少500百万円、預け金の減少550百万円によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債は2,442百万円で前事業年度末に比べ1,597百万円減少しました。この主な要因は、支払手形の減少906百万円、法人税等の支払による未払法人税等の減少387百万円、賞与引当金の減少112百万円によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産は4,749百万円で前事業年度末に比べ182百万円減少しました。この主な要因は、配当金の支払い135百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は66.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は972百万円で、前事業年度末に比べ1,438百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は1,592百万円です(前年同期比2,172百万円減少)。この減少は主に、売上債権の回収による増加356百万円があったものの、仕入債務の支払による減少992百万円、たな卸資産の増加による減少459百万円、法人税等の支払いによる減少633百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は308百万円です(前年同期比416百万円増加)。この増加は主に有価証券の取得による支出100百万円、有形固定資産の取得による支出89百万円があったものの、有価証券の償還による収入500百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は154百万円です(前年同期比91百万円減少)。この減少は主に配当金の支払い134百万円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想について、平成21年11月2日に公表しました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」を御参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額を計上する方法等によっております。

④繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期損益計算書の表示方法の変更

前第3四半期累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取利息」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取利息」は6,474千円であります。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	322,355	1,210,446
受取手形	390,552	875,406
売掛金	1,350,445	1,392,825
有価証券	—	500,031
製品	17,546	9,425
仕掛品	2,388,983	1,910,271
原材料及び貯蔵品	329,165	356,992
預け金	650,000	1,200,000
その他	543,770	327,289
貸倒引当金	△23,800	△6,900
流動資産合計	5,969,020	7,775,789
固定資産		
有形固定資産	848,118	824,820
無形固定資産	9,047	6,820
投資その他の資産		
その他	483,470	364,005
貸倒引当金	△118,080	—
投資その他の資産合計	365,389	364,005
固定資産合計	1,222,555	1,195,646
資産合計	7,191,575	8,971,436
負債の部		
流動負債		
支払手形	681,873	1,587,875
買掛金	229,916	318,852
短期借入金	212,500	205,000
未払法人税等	2,840	390,084
賞与引当金	67,118	180,000
受注損失引当金	55,400	10,800
その他	629,514	781,218
流動負債合計	1,879,162	3,473,830
固定負債		
退職給付引当金	458,654	412,729
役員退職慰労引当金	40,216	79,587
その他	64,156	73,205
固定負債合計	563,028	565,522
負債合計	2,442,190	4,039,352

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	2,138,893	2,325,586
自己株式	△42,123	△41,938
株主資本合計	4,739,778	4,926,656
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,606	4,736
繰延ヘッジ損益	—	690
評価・換算差額等合計	9,606	5,426
純資産合計	4,749,384	4,932,083
負債純資産合計	7,191,575	8,971,436

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,498,475	3,391,511
売上原価	4,072,342	2,508,759
売上総利益	1,426,132	882,752
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	225,979	229,245
賞与引当金繰入額	19,200	16,891
役員退職慰労引当金繰入額	11,642	14,779
貸倒引当金繰入額	—	16,900
その他の販売費及び一般管理費	382,506	469,144
販売費及び一般管理費合計	639,328	746,960
営業利益	786,804	135,791
営業外収益		
受取利息	—	5,845
厚生年金基金特別掛金返戻金	14,426	—
その他	19,485	5,463
営業外収益合計	33,912	11,308
営業外費用		
支払利息	3,854	3,842
固定資産除却損	1,909	990
その他	5	1,135
営業外費用合計	5,769	5,968
経常利益	814,946	141,131
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	118,080
有価証券評価損	—	100,399
特別損失合計	—	218,480
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	814,946	△77,349
法人税等	338,250	△35,900
過年度法人税等	—	9,805
四半期純利益又は四半期純損失(△)	476,696	△51,254

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,741,233	1,121,071
売上原価	2,024,428	844,522
売上総利益	716,805	276,549
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	59,048	67,203
賞与引当金繰入額	19,200	16,891
役員退職慰労引当金繰入額	4,015	3,866
その他の販売費及び一般管理費	131,140	147,429
販売費及び一般管理費合計	213,404	235,391
営業利益	503,401	41,157
営業外収益		
受取利息	2,623	1,667
有価証券利息	2,328	657
その他	829	282
営業外収益合計	5,781	2,607
営業外費用		
支払利息	1,679	1,333
その他	34	767
営業外費用合計	1,714	2,100
経常利益	507,468	41,664
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	5,435
有価証券評価損	—	100,399
特別損失合計	—	105,835
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	507,468	△64,171
法人税等	209,134	△30,200
過年度法人税等	—	9,805
四半期純利益又は四半期純損失(△)	298,333	△43,776

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	814,946	△77,349
減価償却費	47,150	66,287
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,802	45,925
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,642	△39,370
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△900	134,980
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,250	△112,882
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	44,600
受取利息及び受取配当金	△6,962	△6,233
有価証券利息	△5,740	△2,059
支払利息	3,854	3,842
固定資産除却損	1,869	910
固定資産売却損益 (△は益)	△660	△411
有価証券評価損益 (△は益)	—	100,399
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	729,498	356,739
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△677,344	△459,005
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△898	62,793
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,927	△992,303
その他	△13,133	△93,061
小計	796,943	△966,197
利息及び配当金の受取額	6,176	5,939
有価証券利息の受取額	6,525	5,155
利息の支払額	△3,849	△3,801
法人税等の支払額	△225,755	△633,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	580,041	△1,592,350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△100,400
有形固定資産の取得による支出	△21,642	△89,394
有形固定資産の売却による収入	1,065	1,130
無形固定資産の取得による支出	△4,300	△3,025
有価証券の償還による収入	—	500,000
投資有価証券の取得による支出	△82,011	—
投資有価証券の売却による収入	6	—
その他の収入	—	222
その他の支出	△838	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,720	308,532

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	30,000
短期借入金の返済による支出	△7,500	△22,500
長期借入れによる収入	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
リース債務の返済による支出	△5,445	△19,719
自己株式の取得による支出	△1,579	△184
配当金の支払額	△100,564	△134,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,589	△154,272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	409,730	△1,438,090
現金及び現金同等物の期首残高	1,548,081	2,410,446
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,957,811	972,355

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

製品名	前第3四半期 累計期間 (千円)	当第3四半期 累計期間 (千円)	前年同期比(%)	前期 (千円)
圧縮機	5,780,867	4,231,575	△26.8	7,590,313
繊維機械他	689,823	47,176	△93.2	886,214
合計	6,470,691	4,278,751	△33.9	8,476,528

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注高実績

製品名	前第3四半期 累計期間 (千円)	当第3四半期 累計期間 (千円)	前年同期比(%)	前期 (千円)
圧縮機	7,808,755	3,788,507	△51.5	8,505,057
繊維機械他	612,971	52,754	△91.4	634,656
合計	8,421,726	3,841,262	△54.4	9,139,713

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

製品名	前第3四半期 累計期間 (千円)	当第3四半期 累計期間 (千円)	前年同期比(%)	前期 (千円)
圧縮機	4,843,845	3,328,055	△31.3	6,802,176
繊維機械他	654,629	63,456	△90.3	934,798
合計	5,498,475	3,391,511	△38.3	7,736,975

(注) 1 前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間における輸出高の総額及び総販売実績に対する輸出高の割合

製品名	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	輸出高(千円)	割合(%)	輸出高(千円)	割合(%)
圧縮機	1,792,648	37.0	695,257	20.9
繊維機械他	329,006	50.3	3,154	5.0
合計	2,121,655	38.6	698,412	20.6

2 前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間における主要な輸出先別の割合
 前第3四半期累計期間 東アジア 78% 東南アジア 13% 中近東 8%
 当第3四半期累計期間 東アジア 52% 東南アジア 26% 中近東 15%

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 受注残高実績

製品名	前第3四半期末 (千円)	当第3四半期末 (千円)	前年同期比(%)	前期末 (千円)
圧縮機	4,670,065	3,868,488	△17.2	3,408,036
繊維機械他	282,051	12,866	△95.4	23,568
合計	4,952,117	3,881,355	△21.6	3,431,604

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。